第３回市民自治推進委員会　都市調和部会会議録

◆開催日時：平成２８年６月２７日（月）　１８：３０～

◆開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆出席部会員：部会長　　長部　正之

　　　　　　部会員　　山下　克彦

　　　　　　　　　　　荒川　昌伸

　　　　　　　　　　　谷﨑　博美

　　　　　　　　　　　草野　義彦（協働推進庁内委員会）【都市整備部次長】

　　　　　　　　　　　南　　三明（協働推進庁内委員会）

【都市整備部都市政策Ｇ総括主幹】

◆欠席部会員：部会員　　中川　信市

　　　　　　　　　　　西尾　拓也

◆事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　有馬　亮太【市民生活部市民協働グループ主任】

◆議題：「健康」に関する取り組みについて

**≪事務局≫**

前回、都市調和部会を５月３１日に開催しています。全体会議で決定しました健康をテーマに議論しましたが、フットパスの関係や散策路を整備して健康に寄与するような社会基盤整備の必要性、マップの作成、コースに１キロ２キロと目印をつける案や、スタンプラリーの話、また遠くに行って歩くことより、近くを歩けるような歩行空間があればというような話がありました。

資料として、市で以前作成した市内のウォーキングマップを配布しております。

今日の流れとしましては、前回、市のぶら下がり事業を配布しておりましたが、　市の事業の中で確認したいという要望はありませんでしたので、前回の流れを踏まえまして都市調和部会として健康をテーマとしてできることを詰めていただければと考えております。

今後の流れとしましては、各部会で議論している情報共有や今後の方向性を　協議するために、７月１３日（水）に部会長・副部会長会議を開催する予定です。

市の来年度予算に反映させる場合は、９月、１０月頃には内容を固める必要がありますので、その部分を先に検討する必要があると思います。市民や団体で検討する部分については、その後になるのかと考えております。

**≪部会長≫**

　健康ということで、前回はフットパス、みんなで使える室蘭ウィキペディア、歩くイコール健康ではないかという話がありました。

**≪事務局≫**

　部会長・副部会長会議を７月１３日に予定しておりますので、この部会の方向性や各部会の方向性をそれぞれ説明していただく形になると思います。

　まず、健康をテーマとしてこの部会で取り組むことは可能かという部分、可能であれば、どういうことをやっていくのかという部分を固めていただければよいのかなと思っております。

**≪部会長≫**

　うちの部会では、大きくいくつかのパートに分かれています。

　「暮らしやすい快適なまちをつくる」、「良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる」、「道路交通網の整ったまちをつくる」、大きく３つのパートに分かれておりますが、前回の部会長副部会長会議の中では、健康という共通のテーマで進めないと、各部会がバラバラの方向になってしまうということで、健康ということになりました。

本部会で健康ということに関わりを持ちながら、また既存事業との関わりなどを含め、どういう風に第３期基本計画の初年度として、都市調和部会の中で何か目標を持ってどれをやっていくかということであります。

　前回は、既存事業一覧をいただいておりますが、ほとんど都市整備部の方から上がってきている事業となっております。この辺を踏まえて健康と絡ませて　来年度に向けてやっていくかということを話し合いたいと思います。

　前回の部会長副部会長会議の中では、インフラの部会で、健康は無いとお話しさせてもらいました。

**≪副部会長≫**

　なかなか無いと思います。

**≪部会長≫**

　例えば、緑化活動として、お年寄りの方に活動に参加してもらうなど。

**≪庁内委員≫**

　緑化推進事業の中身としては、沿道に花を植えたり、幌別駅前の花壇に花を植えたりする経費として計上しています。また、町内会に花を寄贈したり、その前に自分たちで花をつくるための種や肥料をお配りして花をつくってもらい、その花を各団体に配ってもらったり、直接購入した花を各団体に配ってもらっています。

**≪部会長≫**

　種から苗をつくるというのは、かなり大変だという話は聞いたことがありますが。

**≪庁内委員≫**

　４団体位が花をつくっていますが、高齢化で後継者が見つからない状況となっています。

講習会等も開いておりまして、花植え講習会やフラワーマスター、肥料づくり、土づくりや花づくりをやってもらっています。

**≪事務局≫**

　一覧表では、緑化推進経費のことです。

**≪部会員≫**

　駅前の花壇整備はどのようにやっているのでしょうか。

**≪庁内委員≫**

　連合町内会が主体でやっています。

**≪事務局≫**

　あのような場面に色々参加して話をすることで健康づくりに繋がったりするのかなと思います。

**≪副部会長≫**

　このウォーキングマップは、今も使っているのでしょうか。

**≪事務局≫**

　教育委員会に設置しております。

**≪副部会長≫**

　花を植えるというのは、健康と別物ではないでしょうか。

　美化運動に走っているような気がします。

**≪部会長≫**

　代替わりができないという話を聞くと、健康とは別の問題のような気がします。

**≪副部会長≫**

　強いて挙げれば、このウォーキングマップを調べ直して冊子にした方が、うちの部会としては進めやすいのではないでしょうか。

**≪事務局≫**

　４章の中では公園の部分があり、他の部会で出た話なのですが、市の公園をもっと使用してみてはどうでしょうかという話がありました。市の公園の中でも富岸公園などはよく利用されているのですが、町内会によっては近くの公園が利用されていないことや、草が生い茂っているところもあるようです。

また、キャッチボールができる専用の公園を作るなど活用を図って、公園がもっと使用されるようにすれば、健康増進を図ることができるといった話がありました。

**≪副部会長≫**

　遊具でも使わないと劣化してしまいます。子供の遊具はありますが、大人も使えるような遊具もあれば良いと思います。

**≪部会長≫**

　公園イコール子供ではなく。

**≪庁内委員≫**

　富岸のいなほ公園では、健康遊具を設置しております。

　昔は、児童公園として子供が遊んで、それを親やおじいちゃんが見ていました。

　今は、街区公園と位置付けにしており、子供だけではなく大人も軽く運動ができ憩えるような場所にするように変わってきています。

　事業の一覧でいう都市公園施設長寿命化事業でブランコを変えたりしております。

**≪庁内委員≫**

　街区公園に１ホールずつパークゴルフコースを造り、次の公園へ歩いていくというのはどうでしょうか。そういうのも整備の一つとして。

**≪庁内委員≫**

　パークゴルフ場としては、岡志別にも１８ホールありますし、若山浄水場内にもあります。また、登別地区には広場があり、パークゴルフ場を造り、有志で運営しています。若草の優和園や美園の浄水場も有志で運営しており、市内には４箇所くらいあります。

**≪庁内委員≫**

　パークゴルフは結構歩きますし、体もひねるので、そういった意味では健康づくりにはよいと思います。

**≪事務局≫**

　例えば、市道上に起点を作って、何キロといった目安を付けることは可能でしょうか。

**≪副部会長≫**

　地面にマーキングすればできると思います。

**≪庁内委員≫**

　ただ、起点はどこからでしょうとなるかもしれません。市道が長ければ良いと思いますが、道道との絡みも出てきます。

**≪部会長≫**

　市営住宅大規模改修事業とは、どういうことが予定されているのでしょうか。

**≪庁内委員≫**

　市営住宅の外壁や屋根を改修するといったものです。

**≪部会長≫**

　例えば、市営住宅をゼロホルムアルデヒドにするという意味で、健康を考えるというのも面白いのではないでしょうか。

**≪部会員≫**

　公共の建物は、ＲＣ構造が多いですよね。

学校も昔は木造でしたが、今は耐火という観点からＲＣが主流です。

　あまりメジャーではありませんが、コンクリートストレスというものがあります。

　コンクリートが全面に出てしまうと、目に見えませんがストレスを感じていると言われています。

**≪部会員≫**

　最近では、幼稚園も木造しか作らないということが多いです。

　幼稚園の話ですが、木の建物の中ですと発育が違うと聞きますし、また、裸足で木に触れて遊ぶこともできます。それから、高齢者の健康状態のためには木造が良いとも聞いております。

法律的には、今、大規模な公共建築物は木造で建てるよう努めなければならないということをご存知でしょうか。実際にそのような法律ができています。

ただ、学校やマンションについては、建築基準法が追いつかないような状況です。

各自治体でも、大きな敷地で作る小学校であれば、木造建築を推進すればよいと思いますし、それによって市内の事業者で施工することも可能となります。

**≪庁内委員≫**

　２階建てですと、木造建築は可能ですね。

**≪部会員≫**

　それから、木は５０年の寿命なので、それを過ぎると木材としては使えませんので、過ぎてしまった木材ばかりの状態になっています。日本の木材を製材して販売しようとしても　輸入材より高くなってしまいます。

５０年前は全て木で作っていたため木を植えていましたが、その木が余ってしまっています。

　そこで公共建築物は、木造で作るよう努めなければならないという法律ができているのです。

　ただし、国の流れがそのようになっていてもなかなか浸透しない状況ですので、登別の建物は全部木造にして、設計は地元の設計事務所または工務店にすれば、まちのためにも良いですし、健康にも良いということになります。

更に道産材を使うと、北海道にも貢献できます。

**≪庁内委員≫**

　旭団地は、木造で建てました。

**≪部会員≫**

　今のお話は、まさに里山資本主義と呼ばれることに繋がっておりまして、ＣＬＴというヨーロッパの工法で、１０階建ての木造も建てられるというものです。ＲＣよりも実際に燃えないという技術が出てきていまして、地元の木材を有効活用しましょうということになっています。

**≪庁内委員≫**

　これは、市営住宅（千代の台団地）建替事業に繋がってきますね。

**≪部会長≫**

　これは仕様が決まっているのですか。

**≪庁内委員≫**

　まずは人数、戸数の部分です。

**≪部会員≫**

　戸数が必要であれば、広い敷地じゃないと２階建てではできません。

**≪部会長≫**

　今、夕張などは市営住宅を見てみると、全部平屋に戻してきていて、登別もそうですが、結局４階建てで作っても、エレベーターがなかったら住まないですから、それであれば木造にして、最大でも２階にしてみてはいかかですかね。

**≪部会員≫**

　コンクリートや鉄骨で作ると、化学物質満載で完成しますが、木造では、化学物質は全くない状態です。

条例で建物を縛ることは難しいですが、札幌には景観条例があります。建物に使っていい色が１００種類以上あるようです。

**≪部会員≫**

　良いまちづくりのためには、制限を付けて建物を建ててもらうこともできます。

**≪庁内委員≫**

　地区計画を作ることはできます。

**≪部会長≫**

　木造を改めて見直す部分も良いのかもしれません。

**≪庁内委員≫**

　事業にこだわらず、木造建築の推進をするなど。

**≪部会長≫**

　コンクリートは微弱に放射線も出ますので、もともとはそんなに良いものではないと言われています。

**≪部会員≫**

　当時は、椅子からテーブルから、汽車まで全て木で作っていましたので、木が足りなくなってしまいました。

**≪副部会長≫**

　結局、木を育てるのを忘れた国ですから、木を大事にしようということであれば、育てていかなければなりません。その間隔をきちんと守らないから駄目になってしまいます。

**≪部会員≫**

　ベルギーは、使う木材の量と育てる木材の量を調整しているため、無限に資源が存在するということになっています。

**≪部会員≫**

　コンクリートの床で、例えば食品工場で社員が働くと疲れてしまうということを聞いています。また、木造の場合は、学校の先生も教壇に長く立てていますので確実に健康に影響しているのですが、誰もきちんと数値で出した人はいません。一般的には知られているのですが、それを表現する手法がないということです。

**≪部会長≫**

　まとめとしましては、フットパスを色々考えてみるというのが前回の内容で市の事業にしますと市道舗装排水整備事業にあてられるのではないかという話や、あるいは公園の利活用ということで子供のことを考えるより、大人に主眼をおいての健康な遊具の設置などということで都市公園施設長寿命化事業に載せられるのではないかということや、今の木造の話も、良好な住環境ということで、例えば千代の台団地の建替事業の中でアイデアを出していけるのではないかと思います。

**≪事務局≫**

　今の話は、市の事業に絡めた部分の話だと思うのですが、各種団体や民間レベルでも実施できる部分はありますか。この部分は市でやり、この部分は市民の力や各種団体の方でもやっていけるということが一番良いのかと思います。

**≪部会員≫**

　公園の管理は、市がやっているのでしょうか。

**≪庁内委員≫**

　指定管理しているものもあれば、街区公園などは、公園の面積によって町内会に補助して草刈りなどの管理をしてもらっているものもあります。

**≪部会員≫**

　行政の立場、市民の立場、企業の立場でできることという話ですよね。地域の人たちが、公園の里親の関わり方があるのかなと思います。

**≪庁内委員≫**

　道路・河川・公園でアダプトプログラムというものをやっています。

　ごみ袋や軍手などを提供しております。現在は、６０団体位にやってもらっています。

**≪部会長≫**

　これを踏まえまして、この部会は公共事業でハードの方も多いということもあり、市民の立場や企業の立場というのは、お金がかかることもたくさんありますので難しいと思いますが、本日皆さんからご意見を頂きましたので、部会長・副部会長会議でお話ししたいと思います。

**【次回の会議について】**

　７月１３日（水）の部会長・副部会長会議を踏まえ、改めて都市調和部会でできることを整理しながら健康のテーマについて協議を行う。

**【次回の日程】**

平成２８年７月２７日（水）１８時３０分から